

班活動報告2（フィールド科学系部門2）

フィールド科学系部門 生物生産技術班
仲井 敏

フィールド科学系部門生物生産技術班は生物圏科学研究科附属の4つの施設で活動を行っている。

そのうち附属瀬戸内圏フィールド科学教育研究センター西条ステーション（附属農場）を除く3施設、即ち、附属瀬戸内圏フィールド科学教育研究センター竹原ステーション（以降、竹原ステーション）、精密実験圃場、食品製造実験実習・工作室棟に関わるものについて報告する。

1. 班の構成

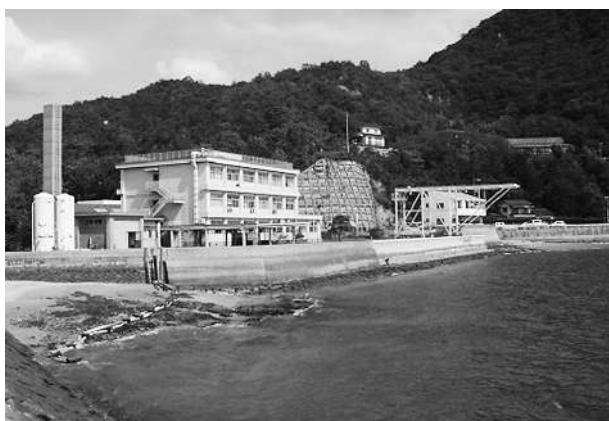
当班は技術班長、技術専門職員、技術員、非常勤職員各1名の計4名で構成される。

班ではあるが構成員はそれぞれの施設で異なった業務を各個に行っているという特殊な事情から業務上は全く繋がりが無いのだが、それでも共通する部分として施設の管理という業務が有る。

その部分に着眼し、不定期だが施設管理に必要な技能の向上と異種業務間での連携の模索などを目的とした「勉強会」を行っている。

2. 各施設での業務

(1) 竹原ステーション



ここでの主な業務は教育・研究の支援と施設の維持・管理である。

教育・研究の支援では例えば小型船舶を操っての調査やサンプリング、実験用サンプルの管理、各種実験・実習の指導や準備そして後片付けと様々な業務がある。

また施設の維持・管理業務では建物内外の清掃や破損箇所の補修、海水供給システムのメンテナンス、ホームページの管理、施設利用に関する処理や各種会議への参加や書類作成などがある。

(2) 精密実験圃場



通称を圃場というこの施設は精密実験圃場、ガラス室・温室、家畜環境制御実験棟、動物舎と4つのセクションからなる。

ここでの業務は教育・研究支援、施設管理、その他の3種に分けられる。

教育・研究支援業務は各種実験・実習の段取りや使用する器具や場所の整備などを行う。

施設管理業務は広大な敷地の整備や耕運、機械・器具のメンテナンス、飼料の管理、施設全般の衛生管理などを行う。

その他の業務として部局全体で発生する生物の死骸などを焼却場まで運搬し焼却したり、実験動物の排泄物を堆肥にする堆肥化装置の管理なども行っている。

(3) 食品製造実験実習・工作実験棟



この施設での業務は工作系業務、施設管理業務、教育支援業務の3つである。

工作系業務は農学系に特化した内容の依頼仕事を主とするが、基本的に依頼者は工作に関する予備知識のない人間であるものとして設計・材料発注から完成に至るまでの全てを行う。

また、部局内の破損箇所の修繕や各種設置工事などの対応も行っている。

施設管理業務は施設の衛生管理、保有機器の維持・管理、施設に関連する様々な事務処理などを行う。

教育支援業務は、当施設で行われる実験・実習に関しての総合的なサポートを行う。

また、機器の改良や実習課題の試作・創作なども行っている。

3. 各施設の様子（写真）

(1) 竹原ステーション



小型船舶を吊り上げている様子



屋内実験水槽



地曳網を使った魚類のサンプリング



シュノーケリング講習

(2) 精密実験圃場



動物舎



鶏舎



温室用ボイラー

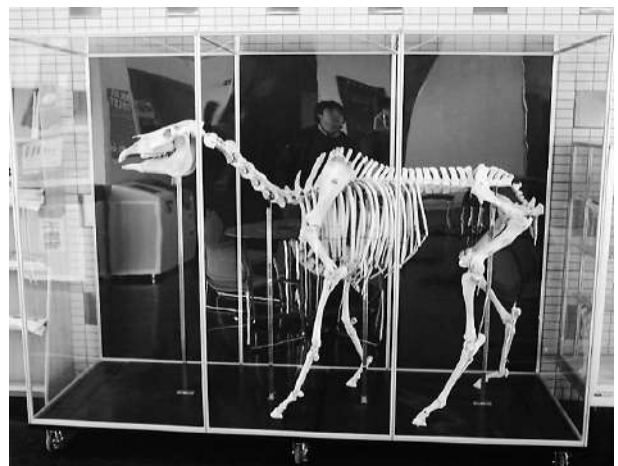
(3) 食品製造実験実習・工作実験棟



依頼工作（昇降回転機能付き58型テレビ台）



整備された芝生



依頼工作（骨格標本ケース）



水産練製品缶詰製造室



水産食品製造学の実習



畜肉製品製造室



畜産食品製造学の実習（畜肉製品）



乳製品製造室



畜産食品製造学の実習（乳製品）